

仙台写真月間 2019 アーティストトーク

仙台写真月間 関連プログラムとして、様々なゲストを迎え写真について対話をするトークイベントを開催します。
予約不要・参加自由です。開始 5 分前までに会場にお越しください。

【会場】SARP：仙台市青葉区錦町 1-12-7 門脇ビル 1F。地下鉄南北線「勾当台公園」駅徒歩 10 分。
*10/19 (土) 小高美穂 × 山田なつみ 対談のみ会場は、カフェ Dao Tao (岩沼駅西口 徒歩 3 分 宮城県岩沼市土ヶ崎 2-9-2) となります。

10月12日(土)

17:00- 猪股無限 × 植田優子

18:00- 大沼洋美 × 城田清弘

*途中休憩有

猪股無限 (いのまた むげん)

1991 年生まれ。宮城県東松島市出身。筑波大学大学院 人文社会科学研究科 現代語・現代文化専攻 博士後期課程。駿河台大学 非常勤講師。専門はフランス現代思想。「表現」をキーワードに、まだ「自己」にとって明確ではない(なるかもわからない)表現について思考している。論文:「神話的思考から身体へ」(『文化交流研究』13号)、「運動知覚のシンボリズム」(『メルロ=ポンティ研究』22号)

大沼洋美 (おおぬま ひろみ)

1982 年山形県生まれ。山形市在住。東北芸術工科大学卒業。東京総合写真専門学校研究科卒業。大学副手を経て 2011 年より山形県小国町旧小玉川小中学校を拠点に「studio こぐま」をスタート。現在は写真家、フリーランスフォトグラファー、地域活動家、ワークショッププランナーなどとして活動。2005 年、2008 年仙台写真月間。2011 年山形美術館「生まれるイメージ」。2014 年寒河江市美術館にて個展。

10月19日(土)

15:00- 小高美穂 × 山田なつみ 対談

『親密と写真』

【会場】

カフェ Dao Tao 宮城県岩沼市土ヶ崎 2-9-2
(岩沼駅西口 徒歩 3 分)

「親密と写真」

SNS の台頭により公共のものとなりつつある写真。
だが、そもそも写真はアルバムやペンダント、手札版の小さな写真を個人で大切に保管し、室内や戦地で恋人や子供を眺めていた親密なアイテムだった。写真がもたらすみつめる楽しみや想像力について語る。

小高美穂 (おだか みほ)

キュレーター。1980 年神奈川県生まれ。日本大学芸術学部写真学科非常勤講師。
上智大学英文学科学卒業後、Falmouth College of Arts(イギリス)写真学科修士課程修了。フォトエディターやギャラリー勤務を経て独立。写真を中心とする展覧会のキュレーションや、コーディネート、作家マネジメント、執筆を中心に、日本と世界をつなぐ様々なフィールドで活動している。2015 年より国際写真賞「Prix Pictet」東京巡回展のコーディネート及びキュレーションを担当。2015 年東京国際写真祭、2017 年 T3 Photo Festival にて展覧会キュレーターを務める。2019 年表参道画廊での「家族系統樹」展キュレーション等。

10月19日(土)

18:00- 西澤諭志 × かのさゆり

*途中休憩有

「現代/日本/風景/写真/放談」

同時に個展を開催している西澤諭志とかのさゆりによる「現代の日本の風景」をめぐる放談。

10月26日(土)

18:00- 川村智美 × 大森恵子 × 伊藤和臣

19:00- 川村智美 × 伊藤和臣 × 大森恵子

*途中休憩有

川村智美 (かわむら ともみ)

東北芸術工科大学映像コース(現映像学科)卒業。近年まで写真・映像やテキストを含む空間構成物を制作。個展:「春の日、マキアート」(2014 / Gallery TURNAROUND / 仙台)、「手のひらの中のなくなってもいいもの」(2014 / ギャラリー K / 東京)。企画参加:「せんだいメディアテーク・対話の可能性「記録と想起—イメージの家を歩く—」(2014)。宮城県美術館公開制作「Fitting Room—纏う映像、感わす身体—」(2015)。そのほか宣伝美術、舞台美術、企画補助など時と場合による。

11月3日(土)

15:00- 大倉宏 × 榎本千賀子 × 今野康隆

*途中休憩有

*榎本展・今野展の2会場を移動しながらのトークです。

大倉宏 (おおくら ひろし)

1957 年新潟県生まれ。東京芸術大学美術学部芸術学科卒。85-90 年新潟市美術館で学芸員として勤務後、フリーとなり、新潟を拠点に美術評論を行う。著書に『東京ノイズ』(アートヴィレッジ) 共著に『越佐の埋み火』(新潟日報事業社)、編集・構成に『洲之内徹の風景』(春秋社)。現在、新潟絵屋代表、新潟まち遺産の会代表、砂丘館(旧日本銀行新潟支店長役宅)館長。長岡造形大学、新潟デザイン専門学校講師。2009・2012 水と土の芸術祭アドバイザー。